



じ 字はどうしたらうまくなるの

ていねいに書^かく練習^{れんしゅう}をしよう

あなたは、自分^{じぶん}が字^じがへただと、なやんでいるのではないでしようか。しかし、あなたが字^じを書くようになってから、まだ、10年^{ねん}もすぎていないでしよう。本当^{ほんとう}は、たった数年^{すうねん}しかたっていないのではないですか。たった数年^{すうねん}、字^じを書いたくらいでは、そんなにすぐに、字^じがうまくなるわけがありません。だから、そんなに気^きにすることはありません。

しかし、どうしても、今^{いま}より字^じがうま^かく書きたいのなら、まず、字^じをていねいに書^かくようにすることです。いつもていねいに書^かいていれば、いつかは、必^{かなら}ず、字^じはきれいになります。字^じを書^かくときは、必^{かなら}ず、いっしょうけんめいに、ていねいに書^かくことを心^{こころ}がけることです。これが習慣^{しゅうかん}になれば、もうだいじょうぶです。

てほん お手本^{てほん}をよく見^みて、ていねいに書^かこう

いまは、ワープロやパソコンがあたりまえになっていますが、手^てで字^じを書^かくことは絶対^{ぜったい}になくなりません。一生^{いっしょう}、自分^{じぶん}の字^じとつき合^あっていくわけですから、どうせなら満足^{まんぞく}のいく字^じの方がいいにきまっています。そのためには、漢字練習帳^{かんじれんしゅうちょう}などで練習^{れんしゅう}するとき、お手本^{てほん}をよく見^みて、ていねいに書^かくようにすることです。根気^{こんき}よく続^{つづ}けていけば、いつかは必^{かなら}ず、きれいな字^じが書^かけるようになります。(監修・青木 国夫)

